2022.10.28

製品構成

製品コード	製品名
715291	HEAT PROCESSOR Solution pH9

製品構成

SDS 番号	構成品・附属品
J-1025	HEAT PROCESSOR Solution pH9 A 液
J-1026	HEAT PROCESSOR Solution pH9 B 液

次頁より、SDS をご覧戴けます。

㈱ニチレイバイオサイエンス

安全データシート

作成日:2022 年 10 月 28 日
SDS 番号:J-1125
第 2 版

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:	HEAT PROCESSOR Solution pH9 A 液
製品コード:	715291: HEAT PROCESSOR Solution pH9; HEAT PROCESSOR Solution pH9 A 液; 150 ml x 4
供給者の会社名:	株式会社ニチレイバイオサイエンス
住所:	東京都中央区築地 6－19－20
担当部門:	品質保証部
電話番号:	81-3-3248-2207
FAX 番号:	81-3-3248-2243
メールアドレス:	n1060x005@nichirei.co.jp
緊急連絡電話番号:	81-3-3248-2207
推奨用途及び使用上の制限:	免疫組織化学染色用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:

物理化学的危険性	区分に該当しない
健康有害性	区分に該当しない
環境有害性	区分に該当しない/分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示:	なし
注意喚起語:	なし
危険有害性情報:	なし
注意書き	
安全対策:	不要
応急措置:	不要
保管:	不要
廃棄:	不要

3. 組成及び成分情報

化学物質の区別:混合物

化学名 又は一般名	濃度又は 濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
水酸化ナトリウム	＜0.1%	HNaO	1-410	別表第 9 の 319	1310-73-2

エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物(EDTA)	＜1%	C10H14N2Na2O8.2H2O	2-1265		6381-92-6
アジ化ナトリウム	＜0.1%	N3Na	1-482	別表第 9 の 9	26628-22-8
塩類水溶液	≧98.8%	-	-	-	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加物:情報なし

労働安全衛生法	非該当(本品のアジ化ナトリウム濃度が 1%未満の為)(本品の水酸化ナトリウム濃度が 1%未満の為)
化学物質排出把握管理促進法、PRTR 法	非該当(本品のアジ化ナトリウム濃度が 1%未満の為)
毒物及び劇物取締法	非該当(本品のアジ化ナトリウム濃度が 0.1%以下の為)

4. 応急措置

暴露措置による応急処置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移すこと。 病状が続く場合には、医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。 飲み込んだ場合は、医師の手当てを受けること 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急処置をする者の保護	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	周囲の材質に合わせた消火剤を使用する
特有の危険有害性	発火物質:通常条件ではない。 特有の火炎及び爆発危険性:ない。
特有の消火方法	特有の消火方法は無い
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	砂や不燃材料で吸収する。 廃棄のために、適切な容器にこぼれた材料を集めること。

不必要な人を近づけないようにし、汚染区域を隔離し、立ち入りを拒否すること。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	蒸気および霧の吸入を避けること。 皮膚及び目の接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	もともとの容器に保管する。 特定の温度で保管する。保管温度は製品表示を参照する。
安全な容器包装材料	データなし

8. 暴露防止及び保護措置

物質名	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
水酸化ナトリウム	未設定	2mg/m3(最大許容濃度)(2009 年版)	STEL(C) 2mg/m3 (2009 年版)
エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物(EDTA)	-	-	-
アジ化ナトリウム	未設定	未設定	STEL(C) 0.29ppm(アジ化ナトリウムとして) STEL(C) 0.11ppm(アジ化水素酸蒸気として) (2009 年版)
塩類水溶液	未設定	未設定	未設定

設備対策　作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
作業区域には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具	空中汚染水準が推奨される暴露限界を超える場合、暴露水準を抑えるのに適切な呼吸器保護具を使用すること。 仕様に適切な、特別な呼吸保護区については、健康及び安全の専門家に相談する事。
手の保護具	適切な耐薬品手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では危険有害な反応は起こらない。
化学的安定性	基準温度及び基準圧力下において安定である。
危険有害反応可能性	重合は起こらない。
避けるべき条件	知られていない。
混触危険物質	知られていない。
有害な分解生成物	適切な耐薬品保護衣を着用すること。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	既知の成分がすべて同一の分類区分（区分に該当しない）のため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知の成分を 1%未満含むので、分類できないに変更。
	経皮	既知の成分がすべて同一の分類区分（区分に該当しない）のため、区分に該当しない、毒性が未知の成分を 1.1%未満含有するため、分類できないに変更。
	吸入:気体	本品は気体ではないため、区分に該当しない。
	吸入:蒸気	既知の成分がすべて同一の分類区分（区分に該当しない）のため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 1.2%未満含有するため、分類できないに変更。
	吸入：粉塵、ミスト	既知の成分がすべて同一の分類区分（区分に該当しない）のため、区分外に該当するが、毒

	性が未知の成分を 1.2%未満含有するため、分類できないに変更。
皮膚腐食性/刺激性	加成方式よる成分合計が濃度限界(1%)以上のため、区分 3 に該当するが、対象国危険有害性区分補正処理により区分 3 から区分に該当しないに変更。さらに、毒性が未知の成分を 1.2%未満含有するため、分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	加成方式よる成分合計が濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが、毒性が未知の成分を 1.2%未満含有するため、分類できないに変更。
呼吸器感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 1.1%未満含有するため、分類できないに変更。
皮膚感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 1.1%未満含有するため、分類できないに変更。
生殖細胞変異原性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 1.1%未満含有するため、分類できないに変更。
発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 1.1%未満含有するため、分類できないに変更。
生殖毒性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 1.1%未満含有するため、分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しない。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	加算法による既知の区分濃度が濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないが、毒性が未知の成分を 1%未満含有するため、分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)	加算法による既知の区分濃度が濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないが、毒性未知成分を 1%未満含有するため、分類できないに変更。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

本品は危険物に該当しない。

国際規則	Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化審法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
廃棄物処理法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
海洋汚染防止法	非該当

16. その他の情報

連絡先	株式会社ニチレイバイオサイエンス
参考文献	NITE GHS 分類公表データ EU CLP Regulation, Annex VI RTECS ECHA C&L Inventory Database
	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる

保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

安全データシート

作成日:2022 年 10 月 28 日
SDS 番号:J-1126
第 2 版

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:	HEAT PROCESSOR Solution pH9 B 液
製品コード:	715291: HEAT PROCESSOR Solution pH9; HEAT PROCESSOR Solution pH9 B 液; 150 ml x 4
供給者の会社名:	株式会社ニチレイバイオサイエンス
住所:	東京都中央区築地 6－19－20
担当部門:	品質保証部
電話番号:	81-3-3248-2207
FAX 番号:	81-3-3248-2243
メールアドレス:	n1060x005@nichirei.co.jp
緊急連絡電話番号:	81-3-3248-2207
推奨用途及び使用上の制限:	免疫組織化学染色用

2. 危険有害性の要約

GHS 分類:

物理化学的危険性	区分に該当しない
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性　区分 2A 特定標的臓器毒性(単回ばく露)　区分 1(中枢神経系、呼吸器、心臓及び肝臓) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)　区分 1(中枢神経系、呼吸器及び心臓)
環境有害性	区分に該当しない/分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示:

注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	強い眼刺激 中枢神経系，呼吸器，心臓，腎臓の障害 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系，呼吸器，心臓の障害

注意書き

安全対策:	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は顔や手など、ばく露した皮膚をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置: 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

保管: 施錠して保管すること。

廃棄: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質の区別:混合物

化学名 又は一般名	濃度又は 濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
クエン酸三ナトリウム二水和物	＜0.1%	C6H5Na3O7.2H2O	2-1323		6132-04-3
エチレングリコール	＜32%	C2H6O2	2-230	別表第 9 の 75	107-21-1
ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ(オキシエチレン)誘導体 Tween20	＜12%	-	7-110, 8-55	-	9005-64-5
ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル	＜2%	(C2H4O)nC14H22O			9002-93-1
塩類水溶液	≧53.9%	C6H5Na3O7.2H2O	-	-	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加物:情報なし

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(表示対象物) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(通知対象物)	エチレングリコール(別表第 9 の 75)
化審法	優先評価物質(法第 2 条第 5 項)	エチレングリコール(2-230)、ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ(オキシエチレン)誘導体 Tween20(7-110, 8-55)
化学物質排出把握管理促進法、PRTR 法	第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)	ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル(政令番号:I-408(令和 5 年以降:I-461))

4. 応急措置

暴露措置による応急処置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移すこと。 病状が続く場合には、医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。 飲み込んだ場合は、医師の手当てを受けること 医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急処置をする者の保護	個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、二酸化炭素、砂、噴霧水
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	蒸気および霧の吸入を避けること。 皮膚及び目の接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	施錠して保管すること。 特定の温度で保管する。保管温度は製品表示を参照する。
安全な容器包装材料	データなし

8. 暴露防止及び保護措置

物質名	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
クエン酸三ナトリウム二水和物	未設定	未設定	未設定
エチレングリコール	未設定	未設定	未設定
ソルビタンのドデカン酸モノエステルのポリ(オキシエチレン)誘導体 Tween20	未設定	未設定	未設定
ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル	未設定	未設定	未設定
塩類水溶液	未設定	未設定	未設定

設備対策　　作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
作業区域には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具　　適切な呼吸器保護具を使用すること。
手の保護具　　適切な耐薬品手袋を着用すること。
眼の保護具　　適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具　　適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	本品に関して危険有害な反応は知られていない。
化学的安定性	通常温度において安定である。
危険有害反応可能性	知られていない。
避けるべき条件	高温あるいは直射日光。
混触危険物質	避けるべき材料:強酸化剤
有害な分解生成物	一酸化炭素(CO)

11. 有害性情報

急性毒性	経口	既知の成分がすべて同一の分類区分(区分に該当しない)のため、区分に該当しないに該当するが、毒性未知の成分を 2.1%未満含むので、分類できないに変更。
	経皮	既知の成分がすべて同一の分類区分(区分に該当しない)のため、区分に該当しない、毒性が未知の成分を 14.1%未満含有するため、分類できないに変更。
	吸入:気体	本品は気体ではないため、区分に該当しない。
	吸入:蒸気	既知の成分がすべて同一の分類区分(区分に該当しない)のため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 46%未満含有するため、分類できないに変更。
	吸入:粉塵、ミスト	既知の成分がすべて同一の分類区分(区分に該当しない)のため、区分外に該当するが、毒性が未知の成分を 46%未満含有するため、分類できないに変更。
皮膚腐食性/刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが、毒性が未知の成分を 1%未満含有するため、分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		加成方式による成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分 2A:「強い眼刺激」に該当する。
呼吸器感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性未知成分を 46%未満含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界(10%)以上含有しない為、区分に該当しないが、毒性未知成分を 14%未満含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖細胞変異原性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界(10%)以上含有しない為、区分に該当しないが、毒性未知成分を 14%未満含有しているた

	め、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当するが、毒性未知成分を 14%未満含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖毒性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当が、毒性未知成分を 14%未満含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	エチレングリコール濃度が 32%未満≧10%以上の為区分 1(中枢神経系、呼吸器、心臓及び腎臓)に該当。危険有害性情報:H370 中枢神経系, 呼吸器, 心臓, 腎臓の障害。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	エチレングリコール濃度が 32%未満≧10%以上の為区分 1(中枢神経系、呼吸器及び心臓)に該当。危険有害性情報:H372 長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系, 呼吸器, 心臓の障害。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	加算法による既知の区分濃度が濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しない。
水生環境有害性 長期(慢性)	加算法による既知の区分濃度が濃度限界(25%)未満のため、区分に該当しないが、毒性未知成分を 12%未満含有するため、分類できないに変更。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

本品は危険物に該当しない。

国際規則	Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
	Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(表示対象物) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(通知対象物)
化審法	優先評価物質(法第 2 条第 5 項)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	第 1 種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1)
毒物及び劇物取締法	非該当
廃棄物処理法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
海洋汚染防止法	非該当

16. その他の情報

連絡先	株式会社ニチレイバイオサイエンス
参考文献	NITE GHS 分類公表データ EU CLP Regulation, Annex VI RTECS ECHA C&L Inventory Database
	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。